



令和4年(2022年)第27週 2022年7月4日(月)~2022年7月10日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## ●咽頭結膜熱(プール熱)が増えてきています

★症状…38℃~39℃の発熱、のどの炎症・痛み、眼の充血・痛み・目やになどが3~5日続く。★潜伏期間…5~7日  
 ★感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、ドアノブや手すりなどを介する接触感染。感染力がとても強い。★流行期…6月ぐらいから増えてきて、7~8月に流行のピークを迎える。

夏に流行する感染症には、手足口病や、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱(プール熱)、流行性角結膜炎(はやり目)などがあります。これらは、特に5歳までの子どもがかかることが多く、**感染力の強い感染症**です。

### 夏に流行する感染症の感染経路は

患者の咳やくしゃみなどのしぶき(飛沫)を吸い込むことによる飛沫感染、鼻水、水疱、便、目やにや涙の中に含まれるウイルスが、直接または、ドアノブや手すり、ティッシュペーパー、タオル、洗面器などを介して口や鼻の中に運ばれることによる接触感染、糞口感染などがあります。

疾患によっては症状がなくなったあとも2~4週間以上にわたって便からウイルスが排出されるものが多いといわれています。咽頭結膜熱(プール熱)・流行性角結膜炎(はやり目)は、プールでも感染しますが、近年は塩素濃度の徹底管理等によりプールの水での感染は稀と考えられていて、接触感染によって感染することが多いです。

### 予防するには

- ◆流水と石鹸によるこまめな手洗いを習慣づけましょう。**手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防方法**です。
- ◆普段からトイレの後、おむつ交換の後、鼻水をとった後などに、しっかり手を洗いましょう。
- ◆子どもが理解できる範囲で咳エチケット<sup>※</sup>を心掛けましょう。  
 ※咳が出る時はマスクをつける、人に向けて咳やくしゃみをしない、咳やくしゃみの時はティッシュなどで口や鼻をおさえるなど。
- ◆タオルの共用を避けましょう。プール前後はシャワーを浴び、目をしっかり洗い、うがいをしましょう。

★5歳以上のお子さんや大人の人でも感染することがあるので注意してね  
 ★別紙の表もみてね



期 間		2022年 26週		2022年 27週	
		6/27~7/3		7/4~7/10(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	1	0.06	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	9	0.56	8	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	0	0.00	1	0.06
感染性胃腸炎	➡	96	6.00	91	5.69
水痘(みずぼうそう)	➡	0	0.00	1	0.06
手足口病	➡	9	0.56	19	1.19
伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	0	0.00
突発性発しん	➡	9	0.56	13	0.81
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	3	0.60	8	1.60
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	1	0.20